

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①みのわ温泉	みのわ温泉の予算に対する費用対効果について、どのように考えているのか。	みのわ温泉については、年々利用者数は減少してはいますが、市内唯一の天然温泉施設ということで、今も多くの皆様にご利用いただいています。施設を管理している文化・スポーツ振興財団への委託費として、3,636万円の予算を計上しており、多くの皆様に利用していただけるよう努めているところです。
②小学校区	指定されている小学校より、自宅から距離が近い別の小学校があるのに、そちらへ通うことができない場合がある。自宅から近い小学校へ通わせることはできないか。	通学について考えると、自宅から距離が近い学校に通わせてあげたいとは思いますが、そのために近隣に住んでいる子どもたちの中で学校を基にした活動が分かれてしまうのは、かわいそうなことです。道を挟んで通う学校が異なるということはありませんが、同じ町内で通う小学校が違うということは、地域社会の形成を考えると懸念があります。
③行田公園	行田公園内の水生植物園やウォーキングコースが除草されておらず、公園内にはサギが住み着いていて獣臭い。公園の管理については、自然のままにしているとのことだが、少しは手を加えて整備をしても良いのではないか。また、旧児童館の跡地もそのままになっているが、整備できないか。	行田公園については、児童館との一体的な利活用のための整備を今年度より行っており、その整備が完了次第、旧児童館の跡地や水生植物園の整備を行いたいと考えています。また、昨年、市で園内の遊歩道の整備を行いました。引き続き管理に努めていきたいと思っています。
④流木	7月5日の豪雨が原因で、海岸に流木が流れ着いている。野焼きしたような跡もあったが、市として流木を処分する予定はあるのか。	市内の海岸については、ほとんどが県の管理となっていることから、現在のところ、市で海岸全体の流木を引き上げる予定はありません。滑川漁港の周辺や、はまなす公園付近の海岸については、県や市で流木の引き上げを行ってはいますが、一度引き上げてもすぐに流木が流れ着いている状態です。
⑤ダイビングスポット	ダイビングスポットについて、市で整備する予定はあるのか。	ダイビングスポットについては、整備に向けて検討してきましたが、実施できていない状態です。賑わい創出のためには、必要不可欠な施設だと思っていますので、今後も整備に向けて検討していきたいと思っています。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑥不審者対策	先日、富山市で拳銃発砲事件が起こったところだが、保育園・幼稚園・小学校において、どのような不審者への対策を行っているのか。また、事件を受けて、対策についてどのように改善し、その改善点をどの範囲まで周知しているのか。防犯などの面で、私たち青壮年層でできること、求められていることなどあれば教えてほしい。	平成27年度に寺家小学校、平成29年度には早月中学校に防犯カメラを設置したほか、交通安全の観点から、平成28年度から2年間にわたり、総合的な通学路の安全点検を行っています。今年度、両中学校区で、交通安全・防犯・防災の観点から、改めて点検する予定としており、点検を通じて、危険箇所の確認・注意を行っていきたいと思っています。また、毎年、防犯マニュアルの再点検を行っていますが、そのことについても注意喚起していきたいと思います。 なお、児童館では、毎月1度火災訓練を行っており、年に1度は消防署の協力の下、大規模な訓練も行っています。不審者対策としては、警察の指導の下、さすまたの使い方を学んでいます。今後は、富山県警と連携して、狙われやすい施設に対するテロ攻撃への訓練を実施する予定です。
⑦インフラ整備	日本青年会議所では、昨年から、国土強靱化・インフラ整備・経済促進を掲げ活動しているが、その中で、インフラ整備にあたっては、行政の協力が必要不可欠であると思われる。滑川市では、インフラ整備について、どのような目的と計画をもって活動を進めていくつもりなのか教えてほしい。	滑川市においても、インフラ整備は県や国に対する重点要望事項に挙がっています。インフラ整備の中で、1番要望が多いのは道路についてです。市では、交通量に従って道路の区分けを行っているところであり、安全なまちづくりを心掛けたいと思っています。橋梁については、長寿命化に向けて点検を行っています。道路や橋梁については、地域の役割や必要性、優先順位等を見極めながら整備に努めたいと考えています。
⑧行政の今後の展望	行政の赤字縮小は課題ではあるが、実施の必要があるにもかかわらず、赤字になるため民間事業者ではできない事業については、行政が実施するのが本質だと考えている。そのようなサービス業としての市の今後の展望について聞かせてほしい。	市では、職員の対応については、3Sサービス(スピード・スマイル・親切)を基本としています。また、来庁されたお客様の意図を的確に汲んでスピードをもってお応えできるよう、職員を配置しています。市役所は市内最大のサービス業だと思っていますので、行政として、市民の皆様のお心を受け止めて、誠意をもってお応えしていきたいと考えています。
⑨財政	市の財政について、借金は増加しているのか減少しているのか教えてほしい。	滑川市の実質公債費比率(歳入のうち、借金の返済に充てる資金の割合)は、平成19年度の23.1%から平成28年度時点では9.9%まで減少しており、県内10市のうち、10位(から2位まで改善されています。また、起債については、返済額以上に借入れをすることは控えており、額も減少しています。なお、起債残高は、平成28年度末で約109億円、市民1人当たりの平均は32.8万円となっており、県内10市平均の56.8万円と比べると、少ない額となっています。

青壮年を中心とする皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H30夏開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑩空き家(1)	現在の市内にある空き家の件数や今後の増加の見込みはどの程度なのか。また、空き家に対する補助策の増強等の計画はあるのか。	現在、市内には約800件の空き家があります。そのうち、倒壊しそうなものについては、所有者等に連絡をとり、危険老朽空き家の解体費用の補助(上限50万円)をご案内しながら、取り壊しを促しているところです。また、その他の空き家・空き地に関しては、「滑川市空き家・空き地情報バンク」に登録いただき、利活用を図っています。今後、補助金の拡充や新たな取り組みについて研究していきたいと考えています。
⑪空き家(2)	空き家の面積を把握していれば、隣家に面する壁を取り壊し、2軒以上の空き家をつなげて提供するなど、空き家対策について、違った方向性が見いだせるのではないかなと思うが、そういった面積や敷地の広さの調査はしているのか。	空き家の面積については、現在のところ把握していませんが、ご提言を参考にしながら、今後の空き家対策について検討していきたいと思います。
⑫吾妻町交差点	吾妻町交差点は寺家小学校や滑川高校の児童・生徒の通学路であるが、歩道側の道路がへこんでおり、雨や雪解けで水たまりが発生し、車両通行時に水しぶきが子どもたちにかかっている。できるだけ早く直してもらいたい。	ご提言の道路については、地元からの要望もいただいております。早急に対応したいと思います。